

2月11日、ピリカスキー場にて3年ぶりに第9回ピリカウィンターフェスティバル（主催：ピリカウィンターフェスティバル実行委員会、ピリカプロジェクト実行委員会）が開催されました。

スキー場ではアルペンスキー大会や、スノーチューブ用の滑り台の設置、イベントとして雪だま投げゲームや雪中宝探しゲームなども行なわれていました。また、「ピリカマルシェ」として、キッチンカー5台と今金町農協が出店した飲食コーナーも設置され、お昼時には長い行列となっていました。

イベントの最後には、協賛企業・団体等から提供された多くの協賛品の抽選会が行われ、大きな盛り上がりの中、イベントの幕が閉じました。

当日は天候にも恵まれ、久しぶりに開催された大きな冬のイベントに約400名（主催者調べ）が来場し、賑わいを見せていました。


3


2


1


6


5


4

1いまルンへタッチするだるまさんがころんだゲーム　2お菓子が当たる雪だま投げゲーム　3意外と探すのが難しい雪中たから探しゲーム　4行列ができたピリカマルシェ　5道南からたくさんの参加者のあったアルペンスキー大会　6楽しくて、何度も挑戦する子どもが続出のスノーチューブすべり台　7豪華景品もりだくさんの抽選会　8札幌と八雲から来場された、コスプレのみなさん


8


7

和工建設によるどん菓子作り



２月16日、町内神丘の「ひかりの里」にて和工建設による地域貢献活動の一環として、どん菓子作りが行われました。

今回で17回目になるこの活動は、新型コロナウイルスの影響で２年間休止を余儀なくされていましたが、再開を望む要望もあり今年から活動が再開されました。

ほかにも紙芝居や、バルーンアートなども行なわれ、活動再開を待っていた参加者を楽しませていました。

除雪ありがとうございます

１月23日、認定こども園いまかねのぱんだ組（年中）の園児たちが役場を訪れ、朝早くから除雪をしてくれている職員に「いつも除雪をしてくれてありがとう」と、手作りのカレンダーを手渡し感謝の気持ちを伝えました。

また、園児達からは「どうやって雪をとばしてるんですか？」や「雪はどこに運んでるんですか？」といった質問が次々に出され、職員は一つ一つ丁寧に答えていました。最後に、除雪車を見学した園児たちは、「タイヤが凄く大きい！」、「除雪車かっこいい！」と間近で見る除雪車に興奮していました。



地域おこし協力隊　榊原、角谷、本田、矢原の『いまかね日誌』

皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の榊原です。

２月11日（土）にピリカスキー場にて３年ぶりに第９回ピリカウィンターフェスティバルが開催されました。今回は、スキー大会参加者だけでなく、多くの人にピリカに来ていただく為に主催のウィンターフェスティバル実行委員会がスキー大会をピリカプロジェクト実行委員会が「職と体験イベント」を協同で開催しました。

ピリカプロジェクト実行委員会は、札幌国際大学地域連携事業で提案された７つの提案を検討するために結成され、今金町の歴史・自然・体験・グルメ・特産品を通じた今金町の観光振興の取組みを行う団体です。

ピリカウィンターフェスティバル当日は、食ブースでは地元食品を使った商品を販売する「ピリカマルシェ」や５台のキッチンカーを配置しました。体験ブースでは「雪だま投げゲーム」や「雪中宝探しゲーム」、いまルンと一緒にできる「だるまさんがころんだ」などのイベントも開催しました。当日は天候にも恵まれ、約400名を超える人が来場し、賑わいを見せていました。

これからも今金町の観光振興のために様々な取り組みを行なっていきたいと考えています。

私たち地域おこしの普段の活動やイベント等の情報はHP「いまCh.」、インスタグラムで更新しています。今見ることができる今金町、今しか見られない今金町を「＃今みる今金」としてＳＮＳで発信していますので、是非ご覧ください。



▲だるまさんが転んだ



▲ピリカマルシェ

InstagramのID→@imakanetiikiokoshi（地域おこし協力隊　榊原）